

	20代			30代			40代以上			全体			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
欠けていると思われ るもの	誠意	23.1	27.3	25.7	11.4	22.2	16.9	10.4	7.3	9.3	12.1	17.6	14.7
	謙虚さ反省	23.1		8.6	11.4	8.9	10.1	6.0	4.9	5.6	9.7	5.6	7.8
	指導助言の受容					2.2	1.1	3.0	2.4	2.8	1.6	1.9	1.7
	専門職自覚	15.4	22.7	20.0	22.7	46.7	34.8	32.8	29.3	31.5	27.4	35.2	31.0
	校務処理をすすんで				2.3	4.4	3.4	1.5		0.9	1.7	1.9	1.7
	教育への意欲	46.0	63.8	57.2	47.5	46.7	47.2	31.3	46.3	37.0	38.7	50.0	44.0
	教育的信念	30.8	31.8	31.4	27.3	20.0	23.6	23.9	26.8	25.0	25.8	25.0	25.4
	現実性・合理性												
	無答				20.5	2.2	11.2	10.4	14.6	12.0	12.9	6.5	9.9
	大切と思われ る資質	社会認識	15.4	22.8	20.0	31.8	13.3	22.5	22.4	7.3	16.7	25.9	13.0
一般教養		15.4	22.8	20.0	22.7	22.2	22.5	9.0	24.4	14.8	14.5	23.1	18.5
教材精通		15.4	9.1	11.4	4.5	2.2	3.4	4.5	2.4	3.7	5.6	3.7	4.7
教育技術			4.5	2.8	4.5	6.7	5.6	9.0	9.8	9.3	6.5	7.4	6.9
児童理解（生徒）		46.2	27.3	34.3	11.4	15.6	13.5	13.4	22.0	16.7	16.0	20.4	18.1
生徒の適切な取り扱い					9.1	4.4	6.7	7.5	7.3	7.4	7.3	4.6	6.0
職場内人間関係		30.8	13.6	20.0	29.5	26.7	28.1	14.9	12.2	13.9	21.8	18.6	20.3
勤務の適正		23.0	9.1	14.3	6.8	13.3	10.1	28.4	14.6	23.1	20.2	13.0	16.8
誠意		15.4	13.6	14.3	9.1	20.0	14.6	3.0	19.5	9.3	6.5	18.5	12.1
謙虚さ反省		23.0	31.8	28.6	18.2	28.9	23.6	31.3	48.8	38.0	25.0	37.0	31.0
指導助言の受容		7.7	4.5	5.7	4.5	8.9	6.7	4.5	9.8	6.5	4.8	8.3	6.5
専門職自覚		7.7	13.6	11.4	9.1	8.9	9.0	20.9	9.8	16.7	15.3	10.2	12.9
校務処理をすすんで		7.7		2.9	4.5		2.2	13.4	9.8	12.0	9.9	3.7	6.9
教育への意欲		61.5	31.8	42.9	29.5	31.1	30.3	23.9	14.6	20.4	29.8	25.0	27.6
教育的信念		30.8	36.4	34.3	22.7	33.3	28.1	23.9	22.0	23.0	24.2	29.6	26.7
現実性・合理性			9.1	5.7	22.7	15.7	19.1	16.4	14.6	15.7	16.9	13.9	15.5
その他					2.6	2.2	2.2	1.5		0.9	1.6	0.9	1.3
無答		50.0	31.4	56.8	46.7	51.8	52.1	51.1	51.9	48.4	49.1	48.8	

#### ◇小学校

##### 必要とされる資質

年代別有意差  $X^2_0 = 35.61 < X^2_{0.05}$

性別有意差  $X^2_0 = 40.77 > X^2_{0.05}$

職位別有意差  $X^2_0 = 61.24 > X^2_{0.05}$

##### 欠けているとされる資質

年代別有意差  $X^2_0 = 62.91 > X^2_{0.05}$

性別有意差  $X^2_0 = 37.45 > X^2_{0.05}$

職位別有意差  $X^2_0 = 153.09 > X^2_{0.05}$

大切と思われる資質=現在の教師に欠けている反応となっていない。大切とされる資質については年代別の有意差なく、児童理解、教育への意欲、専門職自覚の順となっていて、男子教員においては教材に精通すること、女子教員においては職場内の良い人間関係を作ることがこれらについてあげられている。勤務の適正に関しては校長と教員との間に差がみられる。

資質については、「本校の先生方にあてはまることではないが」というようなただし書きが、2・3見られたことなどから無答の理由を推察することもできると思われたが、年代・性による差があり、20代では勤務のあり方、30代では教育的信念、職場内人間関係、40代以上では教育的信念以外は反応が分散しまとまりがない。校長と教員の間では、良い人間関係、勤務の適正の項での差が大きく、人間関係についての意識は教員側により強く意識されているとも考えられる。

#### ◇中学校

##### 必要とされる資質

年代別有意差  $X^2_0 = 38.70 < X^2_{0.05}$

性別有意差  $X^2_0 = 118.86 < X^2_{0.05}$

職位別有意差  $X^2_0 = 31.39 < X^2_{0.05}$

##### 欠けているとされる資質

年代別有意差  $X^2_0 = 58.60 > X^2_{0.05}$